

■ 研究課題名

8 無症状病原体保有者から分離された腸管出血性大腸菌に関する研究

■ 研究の概要

腸管出血性大腸菌を原因とする食中毒・感染症は、都内では年間 400 名を超える感染者が報告されている。この多くは散発患者として届けられているが、共通の感染源（食品）によって引き起こされた散発的集団発生であることも少なくない。このような散発的集団発生を早期に発見し、感染拡大防止と感染源の特定のためには、臨床材料及び食品から分離された菌株の分子疫学的解析が有効な手段と考えられている。

腸管出血性大腸菌が検出された無症状病原体保有者（保菌者）について、検出された背景に関する情報や除菌法等の情報を収集し、保菌者の実態を明らかにする。また、菌株を収集し分子疫学解析を実施し、今後の発生動向予測や予防対策を講じるためのデータを蓄積する。

■ 研究期間

令和元年度

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 吉村 和久

■ 研究責任者の氏名

微生物部食品微生物研究科
鈴木 淳

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。